



## ■ 農業農村整備の集いを開催 =全国から土地改良関係者800名が参集=

全国水土里ネットと都道府県水土里ネットの共催による「農業農村整備の集い」が6月29日午後から東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サポー」で開催され、農林水産省から林農林水産大臣をはじめ、あべ副大臣、小泉副大臣、中川政務官、佐藤政務官、三浦農村振興局長外幹部、また衆・参両院議員、全国の土地改良関係者ら約800名が参集しました。



開会挨拶をする二階全土連会長

開会にあたり、二階俊博全土連会長は「私ども土地改良関係者は政府の方針を重く受け止め、農地・農業用水はもちろん農村地域を守り、その使命を再確認しながら国が目指す方向の実現に向けてこれまで培ってきた技術や経験を活かし、積極的に貢献していく所存である。政府におかれてはこの土地改良関係者の思いを深くご理解いただき、安定的・計画的な事業執行を進めるうえで必要不可欠である平成28年度予算が地域のニーズを十分に満たし、復活したと実感が持てるような予算規模になることを心から願っている。本日の集いを契機として活力ある農業農村の実現に対して関係方面に強く要請していくとともに我々もしっかりお役に立てるように頑張ることを誓う」と挨拶。続いて林農林水産大臣から「農業農村整備は国土強靱化、農業の競争力強化、地方創生といった現下の政策課題に取り組んでいくうえで大変重要な役割を有している。農地、農業用施設がしっかりと整備されてはじめて強い農業、美しく活力ある農村が実現できると考えている。平成27年度予算において増額を確保したものの、まだまだ現場のニーズには応えきれておらず、予算の確保による事業の計画的な推進が大きな課題となっている。今後、最大限の予算確保を政府・与党一体となって実現したい」と祝辞が述べられました。続いて事例発表が行われ、最後に平成27年度の追加予算措置、平成28年度当初予算の確保を訴えた要請書が全会一致で採択され、水土里ネット山梨の白倉会長の音頭で“ガンバロー三唱”を力強く唱和し閉会しました。その後、本県からの参加者20名で県選出国會議員4名に対して要請活動を行いました。



祝辞を述べる林農林水産大臣

■ 農業農村整備の集いを開催	1
■ 平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業説明会を開催	2
■ 農業集落排水(ストックマネジメント)研修会	3
■ 平成27年度島根県換地等強化事業推進委員会及び島根県管理円滑化事業推進委員会開催	3
■ 山王寺「田んぼの学校：棚田の自然調べコース」	4
■ 今月の主な予定	4

## ■ 平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業説明会の開催

7月7日、島根県土地改良会館において、平成27年度土地改良施設維持管理適正化事業新規加入地区及び実施地区の説明会を開催しました。この事業は、一般的な補助事業とは異なり、頼母子講のようにまず事業に加入し、5年間均等に拠出金を積み立てる仕組みのため、毎年、事業に新たに加入される団体や今年度工事を実施する団体に対し説明会を開催しております。

今回は、関係する11団体から13名、また島根県農村整備課用地管理グループから3名の出席があり、事業制度及び手続き、全国における整備補修の事例の紹介、また本年度から適用されるトップランナーモーター（高効率モーター）などについて説明を行いました。

土地改良施設維持管理適正化事業は、ポンプ、モーターのオーバーホール、ゲートの塗装、用排水路の補修・浚渫、ため池の整備など数年に1回行うような施設の整備補修を行うものです。採択基準は、事業費が200万円以上ですが、今年度から、有機的な関連があれば、複数の施設を1地区として採択することが可能となりました。

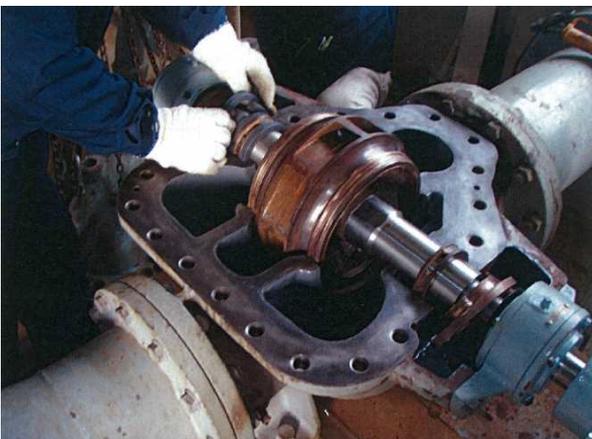
農業水利施設は、年数が経過すれば、必ず劣化・磨耗しますので、当然、整備補修が必要となります。放置すれば長期間の機能停止に陥ったり、重大事故に発展する恐れがあります。計画的な整備補修を行うことにより、施設の長寿命化を図ることができますので、本事業への加入をご検討していただきたいと思っております。

島根県においては、毎年30,000千円の予算を確保していただいておりますが、まだ、平成28年度予算に余裕がありますので、老朽化している水利施設を抱え整備補修を考えられているようであれば下記担当までぜひご相談いただくようお願いいたします。

**【問い合わせ先】** 島根県土地改良事業団体連合会 水土里推進グループ  
石築 秀美（いしづき）（TEL：0852-32-4141）  
申込み締切日：8月21日まで

### 事業の一例

【揚水ポンプのオーバーホール】



【転倒堰の整備補修】



## ■ 農業集落排水(ストックマネジメント)研修会

＝一般社団法人地域環境資源センター(JARUS)＝

7月16～17日、東京都港区新橋田中田村町ビル会議室において、農業集落排水(ストックマネジメント)研修会が、一般社団法人地域環境資源センター(JARUS)の主催で開催され、正会員(市町村)、特別会員(道府県、道府県土連)及び賛助会員約60名が参加しました。

本研修会は、JARUSが農業集落排水事業に携わる技術者を対象として、農業集落排水施設における基本的なストックマネジメント手法の習得を目的に毎年開催するもので、今年で7回目となります。

研修内容としては、ストックマネジメントに関する事業制度から、これまでの取り組み状況、最新の知見による施設の機能診断手法、機能保全対策検討手法、最適整備構想策定手法などの講義と事例紹介があり、本会の岡リーダーが安来市における機能診断調査及び最適整備構想策定の実施例について事例発表を行いました。

農業集落排水施設の機能診断及び最適整備構想策定は、平成21年度から「低コスト型農業集落排水施設更新支援事業」として始まり、現在、農山漁村地域整備交付金の農業集落排水事業の1メニューとなっています。島根県においては、平成26年度までに、9市町61地区が実施されており、本会が受託しています。

発表事例となった安来市においては、平成23、24年度に9地区の機能診断を行い、平成25年度に最適整備構想を策定、その9地区において、本年から5ヶ年の予定で農業集落排水事業(機能強化対策)が始まり、機能低下した機器を中心に更新が行われる予定です。

## ■ 平成27年度島根県換地等強化事業推進委員会 及び島根県管理円滑化事業推進委員会開催

7月28日、本会会議室において、水土総合強化推進事業に定める平成27年度島根県換地等強化事業推進委員会と平成27年度島根県管理円滑化事業推進委員会が開催されました。

換地等強化事業推進委員会は、地方連合会が行う土地改良換地等強化事業の中で設置することとされており、中国四国農政局の島尾土地改良管理課長をはじめ8名の推進委員で構成され、当委員会の業務としては、地方連合会が行う土地改良換地等強化事業の内容の検討を行うものとしています。



島根県管理円滑化事業推進委員会

今回の委員会では、平成26年度の事業報告及び収支決算報告並びに平成27年度の事業計画及び収支予算案、併せて県内換地技術等に対する年間研修計画についてそれぞれ提案され、いずれも原案どおり承認されました。また、県内の従事可能な土地改良換地士の減少や高齢化等の問題が話し合われました。

続いて開催された管理円滑化事業推進委員会は11名の推進委員で構成され、「土地改良施設の診断・管理指導の業務計画」「土地改良事業に関する苦情・紛争等の対策」について検討を行うものです。冒頭、委員長である水土里ネット島根の長崎専務理事が挨拶を行い、その後議長となり議事に入りました。今回の委員会では平成26年度事業報告及び収支決算、並びに平成27年度事業計画及び収支予算(案)について提案され、いずれも原案どおり承認されました。また、事業を推進する上での実態や課題、今後の対策等について意見が交わされました。

■ 山王寺「田んぼの学校：棚田の自然調べコース」 =山王寺本郷棚田実行委員会=

7月25日（土）に雲南市大東町山王寺地区において、山王寺本郷棚田実行委員会（高島幹雄委員長）が主催する、「田んぼの学校：棚田の自然調べコース」が開催されました。雲南市や松江市などから親子連れを含め約50人の参加がありました。

「生き物観察会」では、炎天下の中、ため池や田んぼに向かい、メダカやドジョウ、カエル、カメなどいろいろな生き物が採集されました。網を手に夢中になって生き物を探している親子連れの姿が印象的でした。

島根県技術士会生物多様性研究会から講師を招き、採集した生き物についての解説があり「これだけ多種多様な生き物がいる地域は貴重」とのお話がありました。

また、コンサート（演奏：メロディーボックス）も行われ、爽やかなメロディーを聴きながらみんなで歌ったり踊ったりもしました。

最後の夕食会では、すばらしい棚田からの景色をおかずに地元女性の皆さんお手製のカレーライスをいただきました。

大変暑い一日でしたが、山王寺でしか味わえない体験に、参加された皆さんの心に残る素晴らしい「田んぼの学校」になったと思います。



■ 今月の主な予定

開催日	内 容	開催地
8月 4日（火）	平成27年度しまねの棚田ネットワーク情報交換会	邑南町
8月 6・7日（木・金）	中国四国管内土地改良事業団体連合会合同による第3回換地業務研修会	県土連
8月11日（火）	島根県公共工事積算共同利用システム運営協議会総会	松江市
8月24日（月）	「鳥獣害防護柵等の適正管理」研修会（西部）	益田市
8月25日（火）	「鳥獣害防護柵等の適正管理」研修会（東部）	飯南町
8月27・28日（木・金）	平成27年度土地改良区基盤強化事業会計コース	県土連



水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141  
 ホームページ<http://www.shimanedoren.or.jp/> メール[smndoren@shimanedoren.or.jp](mailto:smndoren@shimanedoren.or.jp)